事業所自己評価シート

令和６年度

職員による自己評価

A. 環境面
スペースを工夫し、狭さを感じにくい環境を整えた。
また、職員配置を厚くし、手厚い支援を実現している。

B. 児童への支援内容
障害特性や年齢に応じた支援を提供。
療育だけでなく、安心して過ごせる居場所づくりにも注力している。

C. 関係機関との連携
支援学校とは密に情報共有を行い、児童の状況や支援内容を把握。
ケース会議や地域連絡会にも参加し、他サービスとも連携を図っている。

D. 保護者への説明責任・信頼関係
連絡帳アプリで毎日写真付きの報告を実施。
送迎時にもその日の様子を伝えるよう心がけている。

E. 非常対応
半年に一度、非常時対応の訓練を実施し、保護者にも報告している。

保護者による評価

Ａ環境面

・スペースを工夫しているが少し狭く感じる。

Ｂ児童への支援内容

・いつも子供達が楽しめながら学べる工夫がたくさんされていて、職員さん達もいつも笑顔で感じが良くアレッタ井土ヶ谷さんに行って良かったと思う。

・本人のモチベーションを上げる支援をされている。

Ｃ事業所からの情報発信

その日の報告があり、写真付きで送ってもらえるのでとてもうれしいです。

Ｄ非常対応

・避難訓練は定期的におこなわれている。

事業所内での分析

【共通点】

・写真付き連絡帳がわかりやすい

・本人のモチベーションを上げる支援をされている

【相違点】

・支援スペースが狭い

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 職員配置を厚くして、色々な障害特性やその日の状態に対応できるようにしている。
- それにより個々に対しての支援も充実できている。
- 写真付き連絡帳で毎日報告している
- 情報発信（報告書や SNS）
- 豊富な外出活動

事業所の改善点

- ・職員や利用児童が多い日はどうしても狭く感じてしまう。
- スペースのあり方を再度考える。

事業所の改善への取り組み

・棚などの場所を考えて、活動スペースをより取れるように工夫する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

前回いただいた改善点はすぐに着手して、今回は同様のお声をいただくことはなかった。
改善点を確認できるのはとても良い機会になっている。

事業所名　　アレッタ児童デイサービス井土ヶ谷
担当者　　門前　秀治